

佐々木忠雄さん追悼ライブ

ご挨拶

「るるるの里ライブ」は今年20回目を迎え忠雄さんが集大成とするはずでした。1月18日忠雄さんが亡くなったと急な知らせが入りました。死亡日時は1月16日朝だったということでした。私としては追悼公演という形で集大成の「るるるの里ライブ」をするのは寂しいですが、忠雄さんの願いを叶えたいという思いが強く、出演者の皆さん、協力してもらえらる皆さんのご理解ご協力をもらいながら、追悼ライブを成功させたいと思います。忠雄さんの思い出の写真なども飾りますので、足をお運び下されば幸いです。皆様のご来場関係者一同心よりお待ちしております。

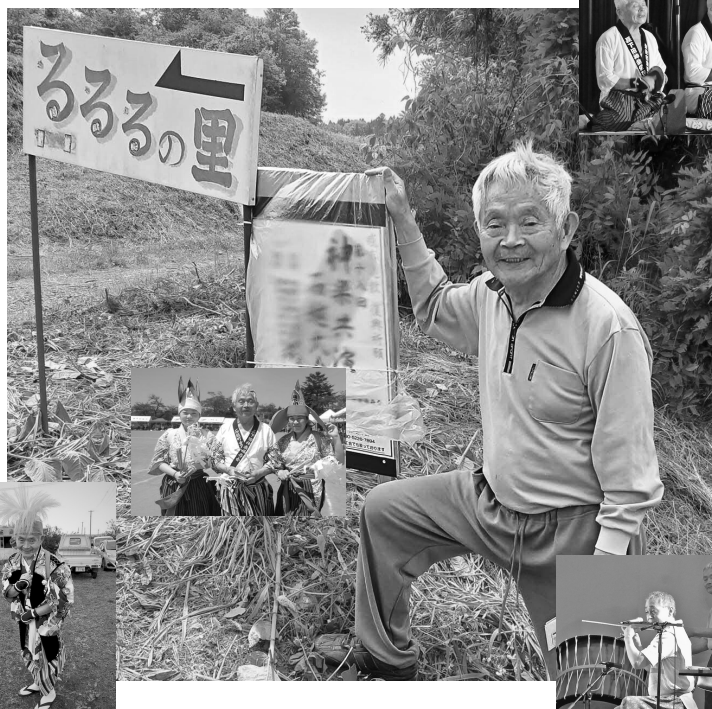
長下田神楽保存会会長 千葉 忠行

佐々木忠雄

昭和18年5月26日 宮城県登米郡石越村生まれ。
令和7年1月16日 81歳没
高校に4年通い大学進学時に東京に移る。大学卒業後は東京都西多摩郡などの4校の小学校に教員として赴任。妻と三男一女の子宝を授かる。44歳で妻を47歳で三男を見送る。子育て後56歳で岩手県花泉町油島に移住。造る作る創るの「るるるの里」と活動拠点の自宅を命名。「るるるの里」だより発行。農業と民俗芸能の伝承と普及に取り組む。ライフワークは神楽とスキー。東京にいた頃はバレーボールやアコーディオンや民舞の会、岩手移住後は民謡やロシア合唱団、郷土史研究会でも活動。

人に会えば会うだけ元気になる人でした。本人にしか見えてなさそうな道でも嬉々として歩いて進む人でした。まだまだやりたいことがあったと思います。でも人生をめいっばい楽しんだ人だと思います。父の生き方を受け入れ、応援し、笑いながら時間を共有してくれた人たちがいてくれたことに感謝します。ありがとうございました。

子ども一同



登米市重要無形文化財指定
長下田神楽保存会

岩手県西磐井郡花泉町（現一関市花泉町）の上油田神楽が前身。慶安元年に村社美渡大明神に天下泰平、五穀豊穰、家内安全を祈禱祈願して、舞を披露したのが始まり。明治26年上油田神楽師匠、佐藤和三郎氏の伝授により「橋向神楽」を石越村に創設。その後昭和24年池田清治氏を師匠に「長下田神楽」として発足。平成17年登米市制定により登米市重要無形文化財に指定。現在は神楽好きの中学生2名、小学生5名が練習に参加してます。



石越民謡同好会

昭和47年 民謡好きの14人が集まって同好会として創設。県代表で出演した全国民謡大会を始め地方大会などでも好成績をおさめています。また、年に数回老人ホームなどに慰問しております。練習は毎月3日、13日、23日。大きな声で体全体で唄うことは健康の基本です。伴奏の三味線、尺八、太鼓、鉦、お囃子など全部揃っている会です。



仙台ロシア合唱団

私達は哀愁のロシア民謡・歌曲を歌う合唱団として2008年に誕生！佐々木忠雄さんは結成当初から加わり、合唱団主催の歌声喫茶やコンサートではアコーディオン伴奏で盛り上げてくれました！コロナ禍や、ロシアがウクライナ侵攻した影響で団員数は半減！現在団員は20名！只今、団員募集中です！



小野越郎×木村俊介DUO

笛・津軽三味線の木村俊介と津軽三味線の小野越郎により結成されたDUO。津軽地方の厳しい風土の中、門付けの芸として発達した津軽三味線。日本各地の祭礼音楽に欠かすことのできない楽器として、豊穰や繁栄への祈りとともに奏でられてきた篠笛。それら大衆音楽の土俗的力強さ、独特な旋法・リズムの魅力を最大限生かしながら、卓抜した音楽センスで独自の音楽世界を展開している。息をもつかせぬ超絶技巧と深い表現力、作品の高い芸術性・オリジナリティーは、国内はもとより、海外公演においても絶賛を博している。

忠雄さんと縁の深い仲間が勢揃い！

るるるの里
特設野外舞台

一関市花泉町油島字下伊沢黒
(白鳥飛来地 樺沢堤南)

音響 丹野企画

協力 マルダイ工業

予約・問合せ
080-5226-7894 長下田神楽（千葉）